

消費生活センターにご相談ください

消費豆知識 107

飲み物に含まれているカフェイン 知らずに多く摂取しているかも!?

事例 ペットボトルのコーヒー飲料を500ミリリットル子供が飲んだところ、頭痛、吐き気、動悸を訴え、病院に救急搬送された。急性カフェイン中毒と診断され点滴治療を受け日帰り退院した。商品にはカフェイン含有量の表示はなかった。

多くの消費者が日常的に飲用しているコーヒーやお茶、紅茶、一部の炭酸飲料等には原材料に由来するカフェインが含まれています。

- ・カフェインは、適量を摂取すれば頭が冴える、眠気を覚ます等の効果がありますが、過剰摂取でめまいや心拍数の増加、震え等の健康被害をもたらすこともあります。
- ・カフェインに対する感受性は個人差が大きく、子ども、妊婦、授乳婦では注意が必要です。

- ・ノンカフェイン等のカフェインが含まれていないことをうたった飲料も販売されています。
- ・カフェイン含有量の表示は義務ではないため、表示されていない商品も販売されており、意図せずに多量のカフェインを摂取する可能性もあると考えられます。
- ・商品にカフェイン含有量等が表示されていなくても、販売者等のウェブサイトで確認できたり、販売者等に問い合わせることで情報が得られることがあります。

▼相談日時 月～金曜日（祝日・年末年始を除く）

午前9時～正午、午後1時～4時

▼相談場所 上三川町消費生活センター（役場1階 地域生活課内）

▼相談専用電話番号 056-9153

まずは、お電話を。消費者ホットライン1188でもつながります。



かみのかわ平成史 第29回 平成29年(2017)

今月号では平成29年の出来事を紹介します。この年は陸上男子100メートルで、桐生祥秀選手（当時21歳）が10秒の壁を突破する9秒98の記録を樹立しました。伊東浩司選手（当時28歳）が平成10（1998）年にマークした10秒00の日本記録を19年ぶりに更新し、日本人選手で初めて9秒台の領域に踏み込みました。

この年、本町ではスポーツの話題が多く、「第47回日本少年野球春期全国大会」では、上三川ボーイズが優勝を飾りました。また、優勝だけでなく「ベストマナー賞」も受賞しました。

6月には、大阪市のヤンマースタジアム長居にて開催された「第101回日本陸上競技選手権大会」に、本町名誉町民である海老原希選手（えびはらのぞみ）が女子やり投げに出場し、60m64cmの記録を打ち出し、見事優勝を飾りました。また、7月に札幌市の厚別公園競技場にて開催された「第30回南部忠平記念陸上競技大会」では、世界陸上参加標準記録である61m40cmを超える61m95cmの記録で優勝し、8月にロンドンで開催された世界陸上競技選手権大会への出場を決めました。

上三川庁舎正面玄関では、海老原希選手を称える「名誉町民の碑」を見ることが出来ます。来庁の際はぜひご覧ください。



海老原選手

▼問い合わせ先 生涯学習課 生涯学習係 ☎056-9159